

私たち、葛巻高校でがんばっています!

葛高での私



3年 中六角 菜々恵

私は、部活動と勉強の両立を図り、充実した高校生活を送っています。部活動はテニス部で、毎日2時間、休日は4時間近く練習します。そのお陰で、各大会で県大会に出場することができました。

生徒会役員としては、各行事の企画、運営をしました。先日 クラスマッチは大成功でした。

ドイツ研修では、初めての海外でホームステイを経験しました。会話が上手く出来なくて苦労しましたが、全てのことが新鮮で多くのことを学びました。

私は、高校生活でいろんな事に挑戦しながら成長することができました。

高校生の力



3年 府金 裕一

私たち葛高生は、近年の生徒数減少という問題をみじんも感じさせない、生命力溢れる学校生活を送っています。

葛高生は、学習、クラブ活動等に加え、生徒会活動と呼ばれる学校行事にも積極的に参加しております。

先日行われたクラスマッチでも、各クラスがスポーツで競い合い、全校が活気ある、有意義な時間を過ごすことができました。秋には学校祭を控えておりますので、葛高生の元気な姿を見ていただくため、ぜひ足を運んでいただきたいと思っております。

今後も、私たち葛高生は、葛高の更なる発展のため、日々努力していきます。

葛高生としての自覚を持って...



2年 吉澤 梢

葛高生として、様々な活動をしている中で、私が特に力を入れているのは部活動です。

私は、バスケット部に所属しており、日々各種大会に向けての練習に励んでいます。7月には県民体があります。3年生にとって最後の大会になるので、3年生のために精一杯頑張ります。そして、3年生引退後は、今まで3年生から学んだことを忘れずに、新たな気持ちで部活動に取り組みます。そして、葛巻高校の名に恥じないような結果を残せるようにしたいと思います。

私の葛高生活



2年 外下 佳奈恵

私が今一番がんばっていることは、部活動です。

放課後の4時30分から7時までの2時間半が部活動の時間です。私が所属しているバスケットボール部は、6月の高総体県大会にも出場しました。今回は1勝をあげることができませんでしたが、ベスト8を目標にがんばっています。

また、勉強や行事では、どんなことにも手を抜かず、積極的に取り組んでいます。

これからも葛巻高校で、社会に出るときのためにたくさんの方の事を学んでいきたいと思っています。

葛高に入学して...



1年 葛高館 信人

葛高に入学して3カ月が経ちました。この3カ月はとても忙しく、また充実したものでありました。

中学校とは違う授業の進み方や内容、そして、日々の部活動。初めは学校生活の一つ一つが新しいことばかりでとまどいもりましたが、徐々に慣れ、楽しくなってきました。

今、毎日の生活は忙しいですが、充実したものであり、葛巻高校の友達と一緒に楽しくがんばっています。

葛巻高等学校に入学して



1年 桂川 いずみ

葛巻高等学校に入学し、3カ月が経ちました。新しい環境にも慣れ、充実した日々を送っています。

特に、学習では、中学校とは違い毎朝の課外があります。英語と数学の基礎を学び、今後の学習の土台となるように頑張っています。普段の学習でも、クラス内で切磋琢磨しながら、お互いに高め合い学習しています。先生方が熱心に教えて下さるので、私も意欲的に授業に参加することができ、毎日の予習、復習にも進んで取り組めるようになりました。

今後も、今の姿勢を続け、自分の夢を達成できるようがんばっていききたいと思います。

どうなる?これからの葛巻高校

交流し、教師陣も強い連携体制で指導にあたります。生徒の理解が不足している箇所を相互に補いながら、きめ細かい授業を実現していきます。

スポーツや吹奏楽などクラブ活動も活発で、近年は郷土芸能も高い評価を得ています。また、地域への奉仕活動や、ジュニアリーグズクラブ、保育園、幼稚園への手作りケーキの贈呈など、地域に密着した活動も活発です。

このように、葛巻高校は中高貫教育で質の高い教育を行いながら、地域に根ざした活動で、生徒の社会性や人間性を育てています。

その結果、近年は国公立大学や有名私立大学への進学も増えており、就職を含めた希望進路は、4年連続で100%を達成しています。

高校の都市部集中 教育の機会平等に

県の高校再編整備計画は、少子化に対応するために必要であり、議会としても一定の理解を示します。しかしながら、県内の高校は、すでに盛岡など都市部に集中しており、小規模校の統廃合が進むと、その傾向はさらに強くなります。



葛高生の活躍に期待!

7月7日、葛巻高校の同窓会が中心となり、「葛巻高等学校存続期成同盟会」が設立され、葛巻高校のPR活動や、入学生の確保に取り組むことになりました。

このように、葛巻高校の存続のためには、町民の皆さんの理解と協力も欠かせません。葛巻高校の活動を応援し、存続に力を貸していただきたいと思っております。

また、それほど中高一貫教育で質の高い教育を行っていても、現

その結果、県内全域で高等教育を受けることが容易ではない地域と、その機会を奪われる生徒が発生すると予想されます。

葛巻高等教育を受ける権利は皆平等であり、地域的条件で、その機会が失われることがあってはなりません。高校進学率が97%と言われる現在、本人の希望以外の理由で、子供たちが高校進学を断念する事態になれば、県全体の教育環境の悪化に

葛巻高校に声援を 中等教育も視野に

もなりかねません。

議会は、「少子化だから」「小規模だから」という理由で、地域から高等教育の場を奪うべきではないと考えます。県立高校の都市部集中をもつ二度見直し、広大な県土において、各地域の生徒の実情に配慮した高等学校の配置を望みます。

ご理解ください

議会は、葛巻高校の存続と発展を願い、同校への入学を奨励していますが、これは町外の高校への進学を否定するものではありません。

中学生の皆さんには、葛巻高校を進路の選択肢に加えながらも、自分の将来の希望に沿って、自由に進路先を決めていただきたいと思います。

実際に子供の数が減少している以上、現状での維持には限界があります。学級数が減少すれば、教員数が減り、教科担任がいなくなるなど、現在の教育水準を保つことが難しくなります。

したがって、今後は、二つの校舎に中学校と高校を設置する、併設型中高一貫教育への移行や、中学校と高等学校を合わせ、6年間で一つの学校とする「中等教育」なども視野に入れ、長期的に葛巻高校のあり方を考えていく必要があります。

議会は、葛巻高校の存続を県に要望し続けるとともに、これらの新たな可能性についても検討していきます。